

・・・ さらなる発展を目指しての新しい取り組み ・・・

◆少子化に伴う高校教育の変化

県教育委員会の中長期高校再編整備計画により、普・職の割合の見直しが行われ、商業高校は6校程度とするとの指針が示された。少子化の時代を迎え、今後一層商業教育を取り巻く環境は厳しさを増すことが予想される。

本校も平成10年度より、商業科・情報処理科が募集停止となり、新たに総合ビジネス科4クラスの募集となった。校舎の中にも空き教室が目立ち寂しさを感じる現状である。そんな中、少しでも商業教育を盛り上げようと、本校でも新しい試みが行われた。

平成11年度より授業の一環として、インターンシップが県内の高校の中でも先駆けとして取り入れられた。また、15年度からは「総合的な学習の時間」が導入され、本校では「キャリアデザイン」と称して、より早い段階から進路についての意識を啓発し、希望通りの進路実現がなされるよう体系的な指導が行われるようになった。生徒の進路状況からもその成果が現れた。

特色ある学校づくりとして、平成16年度より「産業財産権」の指定校となり、商標登録や起業家教育などに体系的に取り組んだ。その一環として、平成17年度より上越市本町商店街の空き店舗を利用して、チャレンジショップ「Rikka」の経営にも乗り出し、地域住民からも好評のうちに平成28年度まで継続して実施している。このことが多くのメディアにも紹介され、多くの収穫を上げている。

また、その実践報告として「新潟県商業クラブ研究発表大会」に参加し最優秀賞を受賞、全国大会で発表したこともあった。平成18年度からはキャリア教育との関連を図り、全国においても先進的な取り組みとなる大町小学校、城北中学校、上越教育大学との「異校種間連携」を実施し、一層の充実・発展を期している。

◆チャレンジショップ「R i k k a」

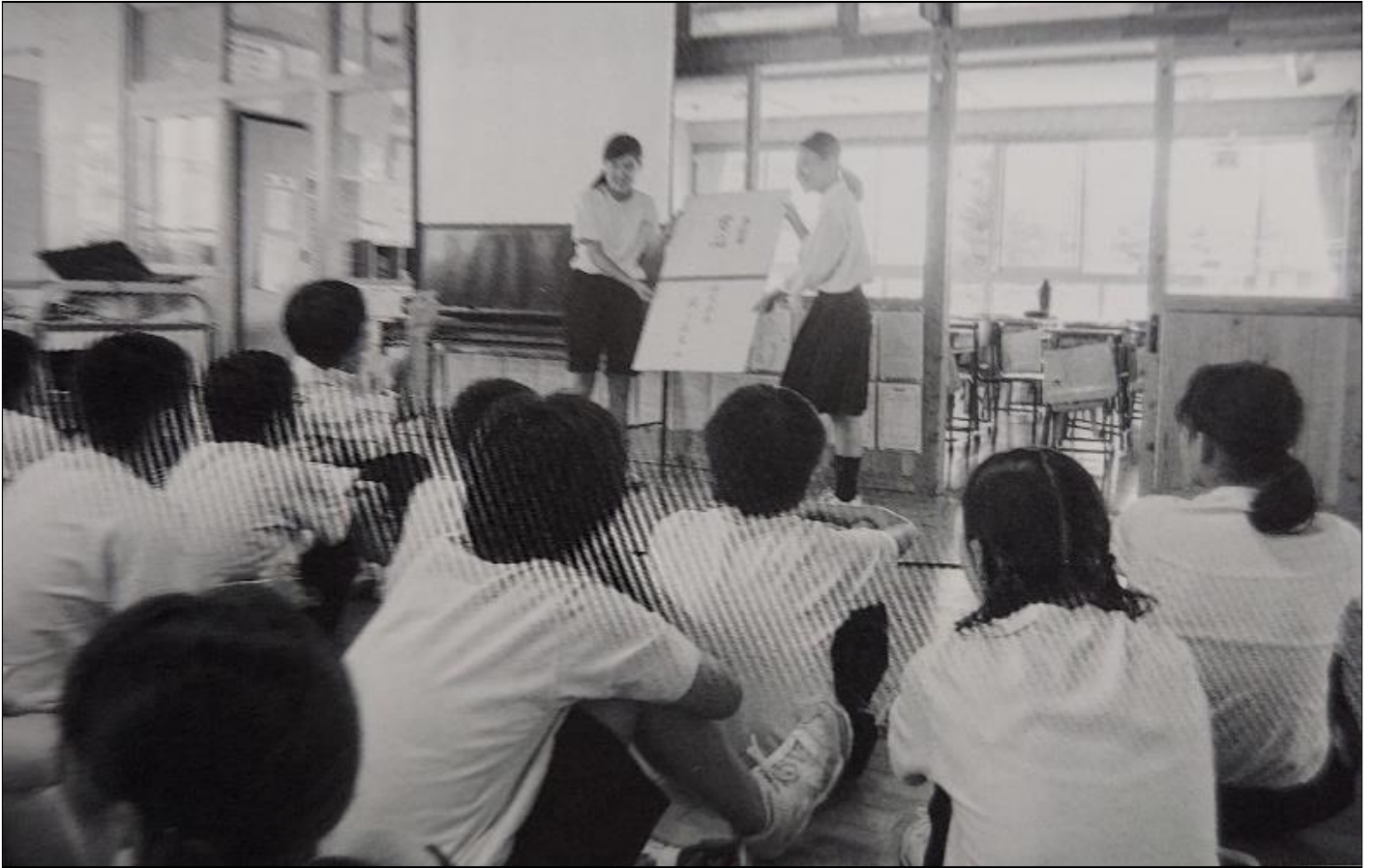
高田商業高校商業クラブでは平成6年から「地域経済」をキーワードとして、高田本町商店街を中心に上越地域の経済の変化・活性化について調査を行ってきた。

また、平成17年度からは特に本町商店街の活性化を目標とし、現在まで「チャレンジショップR i k k a」に取り組んできた。現在チャレンジショップR i k k aは全校生徒から500円ずつの出資を受け、模擬株式会社として活動している。

<R i k k aの連携>

R i k k aは多くの人の協力の下に運営を行ってきた。平成18年度からは校種間連携を行い、地元の小学校・中学校・大学と協力し運営してきた。

★ 城北中学校でのビジネスマナーの授業



★ チャレンジショップ「R i k k a」の店内風景

